

令和4年度施政方針ならびに
教育施策推進の考え方について



自由民主党昭島市議団
高橋 誠 議員

質問 新型コロナウイルスとすることにより、柔軟な感染症を契機とした諸課題への対応など、新たな時代の要請に即した、積極果敢な施策展開が求められる中、新たな総合基本計画をどのように進めていくのか。
市長 総合基本計画を前期後期と各5年間の計画期間

考えるが、脱炭素社会の実現に向けた展望は、②デジタル技術の活用は、高齢者をはじめ、その流れに不安を抱く方もいると考える。DXをどのように推進していくのか。③人材の育成・人財確保について、どのような展望を持っているのか。
市長 ①2030年度までに市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の75%を削減するカーボンクォーターを新たに目標として掲げ、率先して脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。②デジタルデバインド対策も講じる中で、全ての方がデジタル化の恩恵を享受できるように施策を展開していく。③多様な雇用形態等による

多角的・専門的な人材の確保と活用を図るとともに、高いマネジメント能力と政策形成能力、実行力を持つ職員の育成に努めていく。
質問 予算編成の大綱と主要な施策に関して、①市民総合交流拠点施設について、財政負担が大きくなること、多機能を集約することにより、財政負担が大きいことを危惧する。施設運営における効率的な手法の検討を。②児童の熱中症対策や教員の負担軽減のため、水泳授業を校外の屋内プールなどで行う自治体もある。学校のプールや市民プールを含む屋外プール施設の今後の在り方について、考えは。③民間企業による昭島駅北側の大規模開発について、

多くの市民が生活環境や自然環境が悪化するのではないかと不安を抱いているが、市として対応は。
市長 ①自然エネルギーや高効率機器の活用、民間活力の有効活用など、より効率的な施設運営の手法を検討していく。②先行自治体との事例も含め、多角的に検討していきたい。③事業者シマエンスを一つの基盤として、どのように生涯学習・社会教育の推進に取り組むのか。
教育長 市民図書館など、各施設と相互に連携を図りながら、多様なニーズに国際社会で活躍する人材の育成に向け、児童・生徒の社会教育の推進に取り組んでいく。

令和4年度施政方針について



公明党昭島市議団
赤沼 泰雄 議員

質問 昭島駅北側の大規模な物流施設の開発事業者に対して、温室効果ガス排出量の削減の観点から、どのような働き掛けを行うのか。
市長 都の環境影響評価条例に基づき手続き等において、関係機関と連携し、対応していきたい。
質問 公共施設の効率的な管理運営という観点から、包括管理委託を導入すべきであると考えますが、所見は。

市長 先行自治体の導入事例などを参考に、引き続き、調査・研究していきたい。
質問 内水氾濫等の水害時に備え、濁水を排水するポンプと下水の水位を把握できる水位測定システムを導入する考えは。
市長 昭島市建設業協会などの市内団体等による災害対応や国からポンプを借り受けられる体制が構築されたい。
質問 運動場整備の財源確保

保のため、陸上競技場や校庭の夜間照明にLED照明を導入する考えは。
市長 学校施設は6年度より順次取り組み、ほかについても検討を進めていく。
質問 今後の可燃ごみ処理施設の整備方針は、いつまでに結論を出す予定か。
市長 5年度を目途に対応していきたい。
質問 年々新たな空き家も発生しているが、空き家対策の今後の見通しは。
市長 空き家等対策計画を策定し、総合的な施策の展開を図っていく。
質問 上水道へのマイクログリッドの導入を具体的に検討する考えは。
市長 過去に検討した当時の技術では有効ではなかったが、改めて検討したい。
質問 環境教育の観点から、近年注目される循環型農業

成し、学力の向上・定着をどのように図っていくのか。
教育長 東京都英語村を利用し、小学校6年生と中学校2年生が英語を使用する楽しさを体感できるようにする。また、中学校3年生に実用英語技能検定を受験する機会を設け、学力の向上と定着を図っていく。
質問 知の拠点であるアキエンスを一つの基盤として、どのように生涯学習・社会教育の推進に取り組むのか。
教育長 市民図書館など、各施設と相互に連携を図りながら、多様なニーズに国際社会で活躍する人材の育成に向け、児童・生徒の社会教育の推進に取り組んでいく。

1面下段より

どのような形で対応できるのか検討を進めたい。
質問 多摩川の羽村取水せきからの取水量を増やし、拝島原水補給ポンプ所からの水量を減らすことで拝島分水の水量が増えると考えられる。所見は。
答弁 引き続き、都に玉川上水の水量の調整について話をしていく。
質問 クジラ等をモチーフにした、持ち歩きたくなくなるような水筒を作成・活用し、マイボトル運動に積極的に取り組んでいく。
答弁 市オリジナルの水筒については、財源の確保も含め、研究していきたい。
質問 プレミアム付商品券について、多くの市民が利用できることを望む。検討状況は。
答弁 現在検討段階であるが、商工会から購入希望者全員が購入できるような形で考えていると聞いている。

みらいネットワーク

質問 職員の健康が一番大事である。ワーク・ライフ・バランスへの認識は。
答弁 職員の健康が第一であり、ワーク・ライフ・バランスは常日頃から市長より示達として伝えている。
質問 保育園のアナフィラキシシ既往児の受け入れに関して、事故を防ぐために、市から指導しているのか。
答弁 現在、具体的にはないが、今後、園長会を通して、研修の実施やマニュアルの整備等を検討している。
質問 保育事業に携わる人

日本共産党昭島市議団

質問 フルタイムの会計年度任用職員ではなく、正規職員を採用すべき。
答弁 業務を仕分けし、定型な業務をフルタイム会計年度任用職員に担ってもらうため、制度を作った。
質問 横田基地米軍機の低空飛行の苦情が多い。地元自治体の責務として、飛行

3面下段へ続く

が自信を持って働けるように、保育士等処遇改善臨時特例交付金が、行き届くようにすべき。
答弁 今後も国と都の動向に注視しながらしっかりと対応していきたい。
質問 HPVワクチンの積極的勧奨が再開となるが、副反応で苦しんでいる人がいる。相談支援、医療救済体制の整備を進めた上で、定期接種を開始すべき。
答弁 医療機関や医師会と連携を図る中で、検討しながら、実施していきたい。
質問 学校給食共同調理場の建て替えに伴い、アナフィラキシシ既往児に対して、給食を提供するのか。
答弁 詳細については、検討は進んでいない。学校と対応を考えていきたい。
質問 沖繩の町では、米軍基地の消火活動による汚染のため水道が使えなくなると報道された。横田基地に近いため、水道について危機感を持って対応すべき。
答弁 検査結果は基準内に収まっている。仮に異常があれば、検査を徹底していく体制を整えている。